

(中国乙24)
梅毒 発生推移
=2025年12月度=

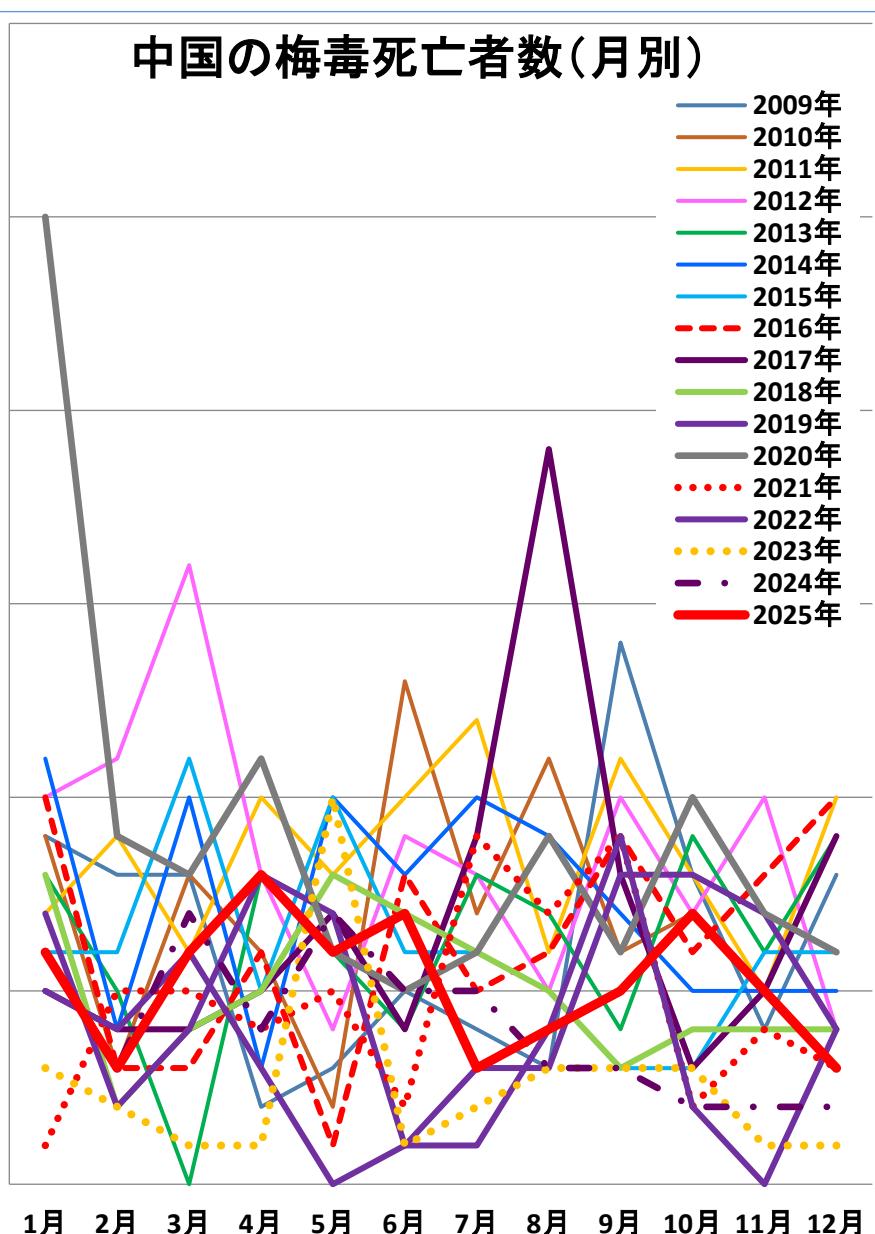
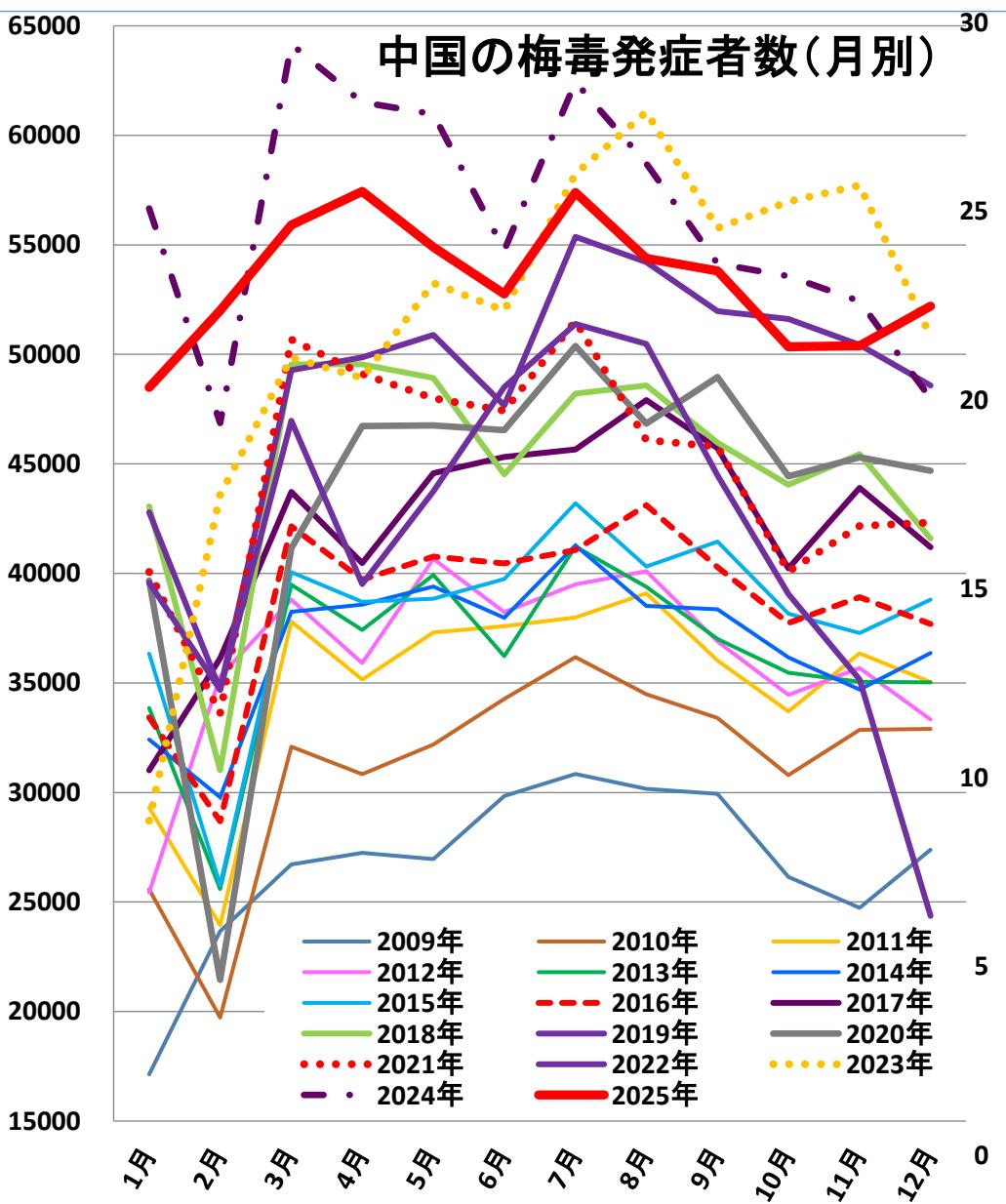
発表:2026年1月9日 国家NDPCA

作成:2026年1月12日
日本中医療衛生情報研究所

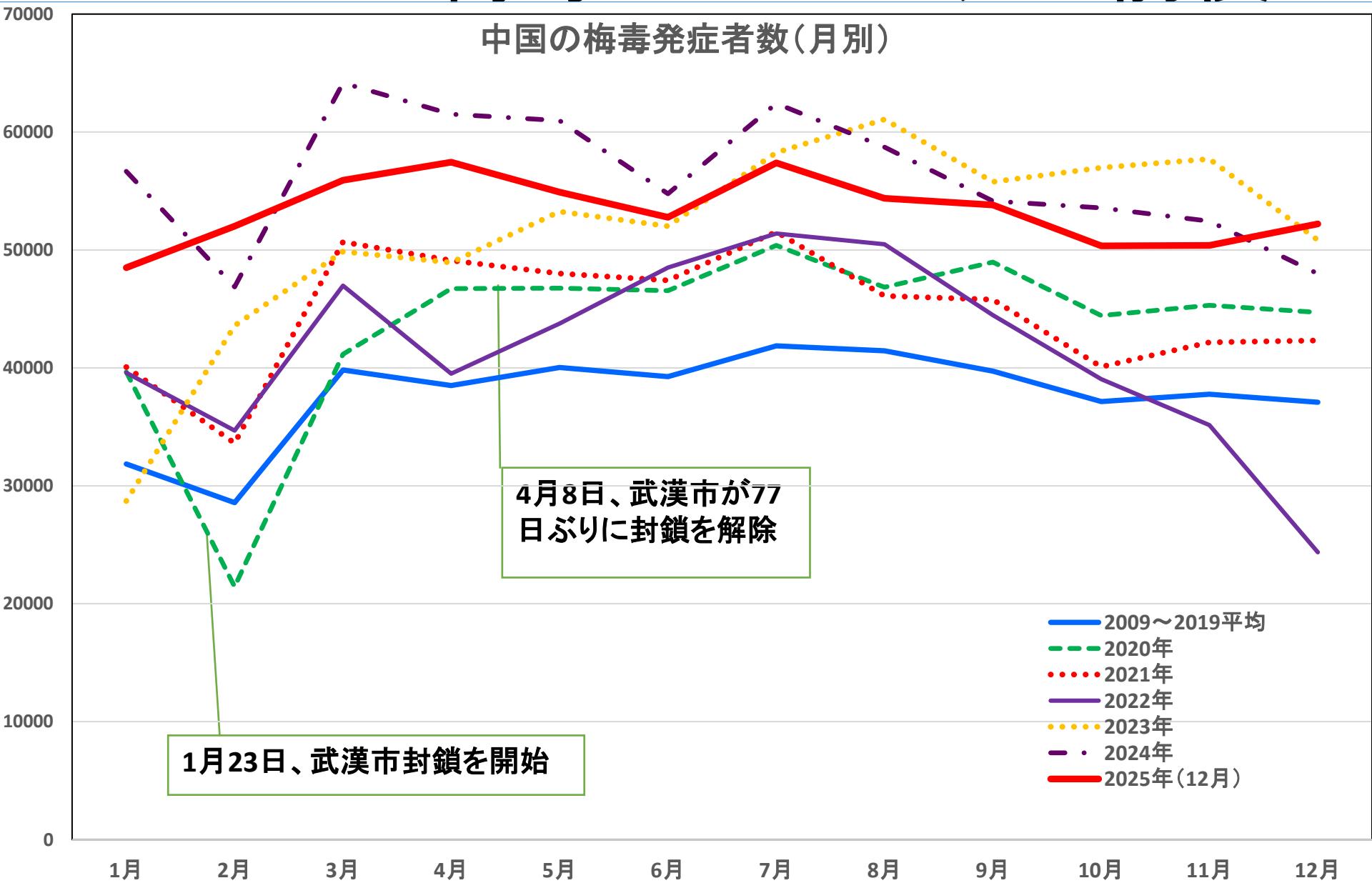
梅毒

- エイズ・B型肝炎・C型肝炎といった他の性感染症も右肩上がりの中、(淋病は2018年度減少に転じた?)
- 中国の梅毒の特徴は、
 1. 每年数十万人の患者が出ており、毎年増加の傾向
 2. 月別では、毎年2月に発症者数が底を打ち夏場に増え、秋口に一旦減少後に12月に小さなピーク
 3. 2015年は、433,974例となつたが、
2016年438,199例、 2017年475,860例、
2018年494,867例、 2019年535,819例に。
2019年5月から連續9か月続いた過去最悪の情況は
2020年1月以後激減、コロナの影響?
2020年は464,435例と減つたが、死者は増えている。
2021年480,020例、 2022年441,159例、
2023年530,116例、 2024年は572,092例(確報)。
中国4大STD時代の復活か。

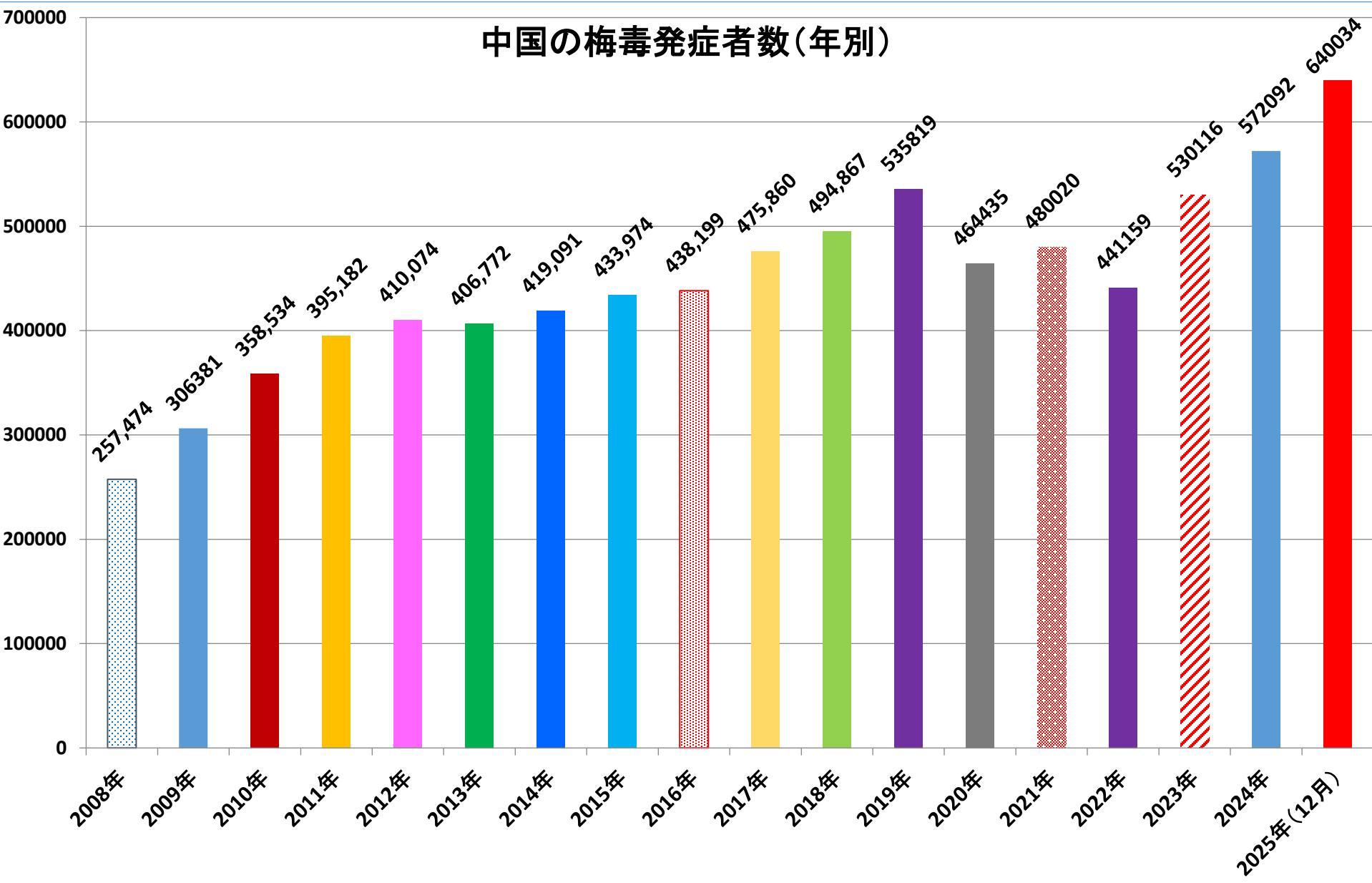
乙24：梅毒



乙24 : 梅毒 : コロナの前後



乙24：梅毒



乙24：梅毒

中国の梅毒死者数(年別)

